

# 土井さん(そでうら)栄冠 J A山形 営農指導で大会 中央会など

【山形】J A山形中央会などは1月28日、山形市のJ A研修所で2021年度(第6回)J A営農指導実践山形県大会を開いた。営農指導員の実践発表は、審査の結果、



最優秀賞に輝いた土井さん④と優秀賞の有路さん(山形市で)

J Aそでうら営農企画係の土井ひろみさんが最優秀賞を獲得した。土井さんは11月に北海道で開かれる北海道・東北ブロック大会に県代表として出場する。

土井さんは「新規品目サトイモの導入で産地の再活性化」と題して発表。砂丘地の遊休農地解消にサトイモを導入し、産地化に取り組んだ事例を紹介した。

土井さんは「サトイモは、イチゴやメロン、アスパラガスなど、既存の露地作物と繁忙期が競合

せず、中間管理の手間も少なく収穫作業も比較的容易なことなど、砂丘地の作型にぴったり合った」と述べた。

県や市、地元の農事組合法人などと共に作付け指導や機械化、作業受託を進めた結果、生産者は5年前の1人から20年は23人に増えた。作付面積も5㌥から3・6㌥に拡大したという。

土井さんは「サトイモの産地化を通じて生産者にやりがい生まれ、地域の雰囲気も良くなった」と報告。連作障害や品質向上などの課題を、販売先を含めた関係機関と共に解決し、安定生産とブランド化を進めていく決意を述べた。

優秀賞には、西洋梨「ラ・フランス」のブランド維持に懸ける営農指導員の思いを伝えた、J Aてんどう営農指導課の有路雅樹さんが選ばれた。